



## 平成29年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年12月14日

上場会社名 サンバイオ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4592 URL www.sanbio.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 敬太  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理部長 (氏名) 角谷 芳広 TEL 03 (6264) 3481  
 四半期報告書提出予定日 平成28年12月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年1月期第3四半期の連結業績（平成28年2月1日～平成28年10月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	事業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年1月期第3四半期	758	△31.1	△1,214	—	△1,813	—	△1,691	—
28年1月期第3四半期	1,099	△64.8	△566	—	△608	—	△470	—

(注) 包括利益 29年1月期第3四半期 △1,650百万円 (—%) 28年1月期第3四半期 △463百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年1月期第3四半期	△37.74	—
28年1月期第3四半期	△10.88	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年1月期第3四半期	6,826	4,812	70.4	106.56
28年1月期	8,271	6,366	77.0	142.66

(参考) 自己資本 29年1月期第3四半期 4,802百万円 28年1月期 6,365百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年1月期	—	0.00	—	—	—
29年1月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成29年1月期の連結業績予想（平成28年2月1日～平成29年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	事業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	947	△19.3	△1,804	—	△2,301	—	△2,136	—	△47.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有  
 連結業績予想の修正については、本日（平成28年12月14日）公表いたしました「業績予想の修正及び営業外費用（為替差損）の計上に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年1月期3Q	45,067,365株	28年1月期	44,621,741株
② 期末自己株式数	29年1月期3Q	84株	28年1月期	16株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年1月期3Q	44,827,271株	28年1月期3Q	43,264,984株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成28年2月1日～平成28年10月31日)におけるわが国経済は、企業収益及び雇用環境が底堅く推移するなか、個人消費は景気の先行きに依然として不透明さが残るため緩やかな増加にとどまるなど景況感は横ばいで推移しました。米国においては、雇用・所得環境の改善を背景に景気回復が持続しました。

再生医療業界においては、平成26年11月に施行された再生医療安全性確保法及び改正薬事法によって、日本における再生医療の産業促進化が進むなか、平成27年9月には、新制度の早期承認制度下で初めてとなる国内の再生医療等製品に対する条件・期限付き販売の承認がされるなど、再生医療等製品の実用化が現実となりつつあります。

このような環境のもと、当社グループ(以下、当社及び連結子会社SanBio, Inc.(米国カリフォルニア州マウンテンビュー市)の2社を指します。)は、中枢神経系疾患に対する新しい治療薬として当社グループ独自の再生細胞薬SB623の事業化を目指し、日米を中心に開発を進めています。

当第3四半期連結累計期間においては、米国で、平成28年3月にSB623慢性期脳梗塞プログラムの第2b相臨床試験(被験者156人規模)で最初の被験者の組み入れが行われ、その後平成28年7月にはSB623慢性期外傷性脳損傷プログラムの第2相臨床試験(被験者52人規模)でも最初の被験者の組み入れが実施され、現在米国では2つの開発プログラムで順次被験者の組み入れを進めています。日本においては、平成28年3月7日付で慢性期外傷性脳損傷を対象とした治験届を独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)に提出し、30日の審査期間を経て、国内臨床試験の実施が可能となりました。慢性期外傷性脳損傷プログラムについては、現在、日米で実施するグローバル治験(被験者は日米合計52人)として実施しており、平成28年10月には日本からの被験者の組み入れも開始しました。

また、平成28年6月には、American Heart Association(米国心臓協会)発刊の専門誌STROKEに、SB623慢性期脳梗塞プログラム第1/2a相臨床試験の投与後12ヵ月経過時の結果が論文掲載されるとともに、サンフランシスコで開催された国際幹細胞学会(ISSCR)においても同試験の結果が発表されました。

このような状況のなか、北米において大日本住友製薬株式会社と締結しているSB623の共同開発及びライセンス契約により、米国の慢性期脳梗塞第2b相臨床試験における最初の被験者の組み入れにより受領したマイルストーン収入5百万米ドル及び開発協力金収入等の収入により、当第3四半期連結累計期間の事業収益は758百万円(前年同期は事業収益1,099百万円)、営業損失は1,214百万円(前年同期は営業損失566百万円)となりました。また、支払利息8百万円、為替差損565百万円を計上したことにより、経常損失は1,813百万円(前年同期は経常損失608百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,691百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失470百万円)となりました。

なお、当社グループは他家幹細胞を用いた再生細胞事業の単一セグメントであるため、セグメント別の業績記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (流動資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産の残高は、6,713百万円(前連結会計年度末は8,191百万円)となり、前連結会計年度末に比べて1,478百万円減少いたしました。これは、現金及び預金が1,471百万円減少したことが主な要因であります。

#### (固定資産)

当第3四半期連結会計期間末の固定資産の残高は、112百万円(前連結会計年度末は79百万円)となり、前連結会計年度末に比べて33百万円増加いたしました。これは、有形固定資産が31百万円増加したことが主な要因であります。

#### (流動負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債の残高は、807百万円(前連結会計年度末は1,419百万円)となり、前連結会計年度末に比べて612百万円減少いたしました。これは、1年内返済予定の長期借入金が566百万円減少したことが主な要因であります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末の固定負債の残高は、1,206百万円(前連結会計年度末残高は484百万円)となり、前連結会計年度末に比べて721百万円増加いたしました。これは、長期借入金が866百万円増加したことが主な要因であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、4,812百万円(前連結会計年度末は6,366百万円)となり前連結会計年度末に比べて1,554百万円減少いたしました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失1,691百万円を計上したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績予想につきましては、提携先である大日本住友製薬株式会社との契約に基づく、マイルストーン収入および開発協力金収入により、ほぼ計画通りの事業収入を見込んでおります。

一方、費用については、期初に策定した費用計画のうち臨床試験費用等に未消化分が発生することが見込まれることから、損失が計画値に比べて縮小する予想に修正いたします。これは、臨床試験費用等の計画には不確定要素が多かったため、計画策定時に想定し得る最大限の臨床試験費用等を織り込み、保守的な計画としたことによるものです。

当社グループでは、現在米国において大日本住友製薬株式会社との共同開発契約のもと、当社グループが独自に開発した再生細胞薬SB623について慢性期脳梗塞の患者様を対象にフェーズ2b臨床試験を被験者数156人規模で実施しています。同試験については、平成28年3月に最初の被験者様の組み入れを実施し、その後も順次組み入れが進展しているところです。

また、脳梗塞に次ぐ適応疾患として外傷性脳損傷を起因とする慢性期の運動障害をお持ちの患者様を対象に、当社単独でフェーズ2臨床試験を日米国際共同治験(被験者数は日米合計で52人規模)として進めており、米国においては平成28年7月に、日本においても同年10月に最初の被験者様の組み入れを実施し、その後順次組み入れを進めております。

来期(平成29年2月1日～平成30年1月31日)の業績予想については、上記の内容を踏まえ、平成29年3月中旬に発表する予定であります。

なお、当期業績予想の修正にあたり、為替レートは、11月末時点のレート及び当社第3四半期累計期間の期中平均レートを用いております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,733,892	6,262,403
その他	457,599	451,024
流動資産合計	8,191,492	6,713,428
固定資産		
有形固定資産	67,974	99,498
無形固定資産	207	1,380
投資その他の資産	11,342	11,911
固定資産合計	79,524	112,791
資産合計	8,271,017	6,826,219
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	800,000	233,320
賞与引当金	20,994	61,192
繰延税金負債	184,931	160,435
その他	313,651	252,458
流動負債合計	1,419,577	807,406
固定負債		
長期借入金	300,000	1,166,680
繰延税金負債	184,931	40,108
固定負債合計	484,931	1,206,788
負債合計	1,904,508	2,014,195
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,806,973	3,850,755
資本剰余金	7,518,415	7,562,198
利益剰余金	△4,978,932	△6,670,710
自己株式	△28	△146
株主資本合計	6,346,428	4,742,096
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	19,362	60,259
その他の包括利益累計額合計	19,362	60,259
新株予約権	718	9,667
純資産合計	6,366,509	4,812,023
負債純資産合計	8,271,017	6,826,219

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年10月31日)
事業収益	1,099,484	758,007
事業費用		
研究開発費	1,227,894	1,416,408
その他の販売費及び一般管理費	437,948	556,405
事業費用合計	1,665,843	1,972,813
営業損失(△)	△566,358	△1,214,805
営業外収益		
受取利息	948	6,259
為替差益	20,839	—
その他	64	168
営業外収益合計	21,852	6,427
営業外費用		
支払利息	13,549	8,951
為替差損	—	565,363
株式交付費	32,446	—
上場関連費用	18,356	—
資金調達費用	—	30,464
営業外費用合計	64,351	604,779
経常損失(△)	△608,857	△1,813,157
特別損失		
固定資産除却損	1	—
特別損失合計	1	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△608,858	△1,813,157
法人税、住民税及び事業税	883	1,483
法人税等調整額	△138,939	△122,862
法人税等合計	△138,055	△121,379
四半期純損失(△)	△470,802	△1,691,778
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△470,802	△1,691,778

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年10月31日)
四半期純損失(△)	△470,802	△1,691,778
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	7,057	40,897
その他の包括利益合計	7,057	40,897
四半期包括利益	△463,745	△1,650,880
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△463,745	△1,650,880
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年2月1日 至平成27年10月31日)

当社グループは、他家幹細胞を用いた再生細胞事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年2月1日 至平成28年10月31日)

当社グループは、他家幹細胞を用いた再生細胞事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。